

JR東労組盛岡

No. 9
2023年9月5日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人 大村 博行
編集人 情 宣 部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238-2239 FAX 033-2230

申1号

「盛岡地本第38回定期大会発言」及び「各支部定期大会発言」に関する申し入れ 本日提出!

JR東労組盛岡地本は7月8日に「第38回定期大会」を開催、また各支部においても定期大会を開催しました。大会では、23春闘や夏季手当のたたかいを通じての組合員との議論、不当労働行為撲滅を通じて、組織強化・拡大を実現していくことを確認しました。職場では、「安全はトッププライオリティ」という言葉だけが独り歩きし「安全よりも施策優先・コストダウン優先」となり、安全が阻害される事柄も発生しています。更に施策を説明できない管理者が多くなり、全社員で担うはずの施策が職場全体の「あきらめ感」が増大し、組合員・社員は疲弊しています。「融合と連携」の名のもとに「何でもあり」の職場では、モチベーションは上がりず、その目的さえも薄れてしまいます。JR東労組盛岡地本として、安全が担保され働きがいやモチベーションが向上する施策でなければ「是々非々」で対応していくことも確認しています。

組合員の雇用確保を大前提に、安全と働きがい、技術継承・人材育成ができる職場を構築するために下記の通り申し入れを提出しました!

1. 統括センター及び各営業統括センターにおける超過勤務の実態を明らかにすること。また、現れている職場実態を正しく把握し要員を増やすこと。
2. 2023年7月4日に発生した津軽線軌道短絡事象の原因と対策を明らかにすること。また、保線設備技術センター及び各保線技術センターの軌道材料モニタリングの活用状況を示し、実効性を向上すること。
3. 盛岡運輸区における公募制による「駅や車内での乗車券類の発売業務」と「運転士による車掌業務」を行う目的と内容及び各業務を行う上での教育内容を明らかにすること。また、実施する際は労働条件等の変更となることから労使議論を経てから実施すること。
4. 「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」施策において、この間の労使の議論経過と確認事項を遵守し、納得感とモチベーションが向上する施策とすること。
5. 各系統におけるエルダー社員の本体雇用、グループ会社及びパートナー会社等へのエルダー社員の雇用の現状を明らかにすること。また、本人希望を考慮し雇用を確保すること。

組合員の声を基に会社と議論します! 「安全・健康・ゆとり」ある職場を創ろう!